RimArts社の Becky! Ver2 の設定方法(受信: POP3)をご案内いたします。

# <u>★</u>Becky! Ver2 メール設定方法(POP)

- アカウント作成方法(送信:587番ポート /受信:POP3)
- <u>SMTP25番ポートの設定方法</u>
- 。 <u>POP over SSLの設定方法</u>
- 。 <u>SMTP over SSLの設定方法</u>

# ★ Becky! Ver2 基本設定方法(送信:587番/受信:POP3)

### ■ 1.新規メールボックスの作成の画面を開きます。

Becky! Ver2 を起動し、「ファイル」→「メールボックス」→「新規作成」メニューをクリックします。

プ(H)				
🖉 🗶 🔍 🗮 🖉	A RÍO d	a ra		8. a
10 - 10				CHITCH IT
218	石明	STUPPUX	x-109-1(-	SMTPD=/(=
1)	123542489	stangsppone.jp	popropportecjp	smp.sppo.ne.jp
	0 1 1			
ick Mano ((()	-3+4	+9+6		-+8+
		+		
モ吸として目田( とした覚え書き)	にお使い頂けま などにご活用く	す。」 ださい。」		
みの可/不可は、	鉛筆の絵のツー	-ルボダン(直接編集	€モード)で切	り替え可能です
青報シ				
na st. 100 a. dit m. 144	ab Z (= ) + = of	コナ、水体にし体的	17. at	
リモバマ読み遣		スキーを使うと使利	6999	
・リストビュー	・メッセージビ	ューの配置は、「表	示」メニューの	)「レイアウトの
ブルやFAGIこつい	ては「ヘルブ」	メニューの「困っ!	ととき・判らな	いときは」を見
2 # 0 = 1+ 5		1	*** 2 = 5 ** *	***
いるの方は、「	<10 J 0 18e	cky:入F11 をこ一統	0110-288	51000 a 9 . (
		受信         名前           POP3         任徳の名前           リ	受催         名柄         メールアドレス           POP3         任意の名前         staff@sppd.ne.jp           ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	サールアドレス メールサーバー     POP3 任意の名前 staff@sppd.ne.jp pop.sppd.ne.jp      town=2344587[ ick Memo <<<         T

#### ■ 2.メールボックス名を入力します。

「新規メールボックスの作成」画面が表示されますので、「名前」にメールボックス名に分かりやすい名前を入力します。「メールアドレス」にメール で差出人として、実際に利用するメールアドレスを入力します。

×	2.新規メールボックスの作成ダイアロ	<b>ノ</b> グ
	メールアカウントの追加	<b>X</b>
	メールボックスの通称(X): 任意の名前	
Ľ	名前(N): 任意の名前	
	メールアドレス( <u>A</u> ): staff@sppd.ne.jp	
l	受信プロトコル(P): POP3	•
	「受信プロトコル」は、通常は「POP3」です。 プロバイダによってはサーバー上にメールを置くIMAP4を ている場合があります。	をサポートし
and the second se	OK 🍂	*>セル

## ■ 3.設定情報を入力します。

「名前」には、メールの差出人名として表示したいお名前をご自由に記入して下さい。「メールアドレス」「POP3サーバー」「SMTPサーバー」「ユー ザーID」「パスワード」を、「レンタルサーバー登録通知書」を参照し入力して下さい。

※ 「受信メールをサーバーに残す」については、サーバーのディスク容量が有限のため ご利用ください。チェックを入れる場合、「●日後に削除」の期間をなるべく1~7日以 お願い致します。	oチェックを外して 内に設定頂くよう
図3.基本設定	
[任意の名前]の設定	1
メールボックス名(2): 任意の名前 🛛 🖉 巡回対象(/)	
基本設定接続 メール作成 受信 詳細	
個人情報 名前(N): 任意の名前	
メールアドレス(A): staff@sppdne.jp	
サーバー情報	
又1日クロトコ/K1/7 POP3 ▼ POP3サーバー(受信)(M): non sond ne in POP3S	
SMTPサーバー(送信)(S): smtp.sppd.ne.jp	
ユーザーID(U): sppd00001 パスワード(P): ●●●●●●●●	
認証方式(H) 💿 標準 💿 APOP 💿 CRAM-MD5 💿 NTLM	
■受信メールをサーバーに残す(L) 0 🔄 日後に削除(0の場合削除しない)(D)	
受信プロトコル: メール受信に使用するプロトコルを指定します。	
一般的にはPOP3です。フロバイダ1割で、特に「IMAP4サホート」と言次のない取り、POP3を選択して下 さい。	
プロファイル(R): (標準) → 新規(W) [削除(D)] 取込(Y)	

# ■ 4. サーバーのポート番号を編集します。

「詳細」タブをクリックし、左上の「サーバーのポート番号」のSMTPの値を「587」に変更します。

仕意の名前]の設定       メールボックス名(X):       仕意の名前       「巡回対象(/)         基本設定       接続、メール作成       受信       詳細         サーバーのボート番号       SMTP記記証       SMTP記記証         SMTP:       587 (標準: 25)       POP3:       110 (標準: 110)         IMAP4:       143 (標準: 143)       パスワード(O):       パスワード(O):         SSL/TLS関連       アフォルト       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用         受信用(C):       デフォルト       アシオルト         ご取明書を検証しない(S)       POP before SMTPを使用         ご取正後       300 ミリ秒待つ       認証用サーバー(A)         アントルント証明書を使用(F)        ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)         MAPBJ連       日本のフォルダ名:       Trash         丁協をサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:       Trash         草稿をサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:       Sent         「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)       1 自動取得(Z)         グロファイル(R):       (標準) <ul> <li>(標準)</li> <li>〇K</li> <li>キャンセル</li> <li>ヘルブ</li> </ul>	4.サーバーのポート番号編集メ	ミニュー	
メールボックス名(X):       任意の名前       「迷回対象(/)         基本設定       接続、メール作成       受信       詳細         サーバーのボート番号       SMTPI認証       「CRAM-MD5 / LOGIN / PLAIN         SMTP:       587 (標準: 10)       「AAP4: 143 (標準: 143)       「CRAM-MD5 / LOGIN / PLAIN         SSL/TLS間連       「CRAM-MD5 / LOGIN / PLAIN       2-ザ-ID(U):       ////////////////////////////////////	任意の名前」の設定	and the second second	×
基本設定       接続       メール作成       受信       詳細         サーバーのボート番号       SMTP認証       CRAM-MD5       LOGIN       PLAIN         SMTP:       587 (標準: 25)       CRAM-MD5       LOGIN       PLAIN         POP3:       110 (標準: 110)       ユーザーID(U):       ユーザーID(U):       パスワード(0):       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用         SSL/TLS関連       ● POP before SMTPを使用       認証用サーバー(A)       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用         受信用(0):       デフォルト       ●       ● POP before SMTPを使用         認証後       300 ミリ秒待つ       認証用サーバー(A)       ● ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)         MAP問連       ● BAR ですルダの未読数を更新(V)       ごみ箱のフォルダ名:       Trash         「MAPDオルダ:       ● 接続時(こフォルダの未読数を更新(V)       ごみ箱のフォルダ名:       Draft         「営稿をサーバー上に置く(L)       単橋のフォルダ名:       Draft       ●         「ダスカ」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)       ↑ 自動取得(Z)         プロファイル(R):       (標準)       ● MA(W)       削除(D)	メールボックス名(X): 任意の名前		☑ 巡回対象(/)
サーバーのボート番号       SMTP:       587 (標準: 25)         POP3:       110 (標準: 110)         IMAP4:       143 (標準: 143)         SSL/TLS関連       (標準: 143)         受信用(C):       デフォルト         受信用(C):       デフォルト         ご証明書を検証しない(S)       POP before SMTPを使用         認証後       300 ミリ秒待つ         認証明書を検証しない(S)       アウイアント証明書を使用(F)         IMAP関連       接続時(にフォルダの未読数を更新(V)         ごお箱をサーバー上に置く(I)       ごみ箱のフォルダ名:         草稿のフォルダ名:       Draft         送信済みをサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         グローバルプロファイル(G)       OK	基本設定接続メール作成受信	言羊糸田	
POP3:       110 (標準:110)         IMAP4:       143 (標準:143)         SSL/TLS関連       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用         受信用(C):       デフォルト         ジ目用書を検証しない(S)       POP before SMTPを使用         認証後       300 ミリ秒待つ         ごか箱をサーバー上(2置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:         ごみ箱をサーバー上(2置く(T)       ごお箱のフォルダ名:         ジ信済みをサーバー上(2置く(L)       草稿のフォルダ名:         「なスク」をサーバー上(2置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         グロファイル(R):       (標準)         グローバルプロファイル(G)       OK	- サーバーのボート番号 SMTP: 587 (標準: 25)	SMTP認証 「CRAM-MD5 「 LOGIN	V PLAIN
IMAP4:       143 (標準: 143)         SSL/TLS関連       ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用         受信用(C):       デフォルト         逆信用(D):       デフォルト         ご即書を検証しない(S)       POP before SMTPを使用         図00 ミリ秒待つ       認証用サーバー(A)         ご即書を検証しない(S)       アント証明書を使用(F)         MAP関連       IMAP関連         IMAP関連       第続時(こフォルダの未読数を更新(V)         ごみ箱をサーバー上(こ置く(I)       ごみ箱のフォルダ名:         「するのフォルダ名:       Draft         ジ信済みをサーバー上(こ置く(I)       送信済みのフォルダ名:         「な入り」をサーバー上(こ置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         ブロファイル(R):       (標準)         グローバルプロファイル(G)       OK	POP3: 110 (標準: 110)	ユーザーID(U):	
受信用(C):       デフォルト         逆信用(D):       デフォルト         証明書を検証しな(NS)       ② シリシ(待つ)         ジレクライアント証明書を使用(F)       ● ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)         IMAP関連       ■ 接続時(こフォルダの未読数を更新(V)         ごみ箱をサーバー上に置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:         丁宿んちサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:         丁なんり」を中一バー上に置く(E)       送信済みのフォルダ名:         「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         ブロファイル(R):       (標準)         〇K       キャンセル	IMAP4: 143 (標準: 143)	バスワード(O): ※省略時は受信用のIDとパスワー	
証明書を検証しない(S)       ✓ ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)         ✓ クライアント証明書を使用(F)       ●         IMAP関連       ●         IMAPフォルダ:       ●         ごみ箱をサーバー上に置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:         丁宿んちサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:         丁信済みをサーバー上に置く(E)       送信済みのフォルダ名:         「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         ブロファイル(R):       (標準)         〇K       キャンセル	受信用(C): デフォルト ▼ 送信用(I): デフォルト ▼	POP before SMTPを使用 認証後 300 ミリ秒待つ 認語	正用サーバー(A)
IMAP関連         IMAPフォルダ:       接続時にフォルダの未読数を更新(V)         ごみ箱をサーバー上に置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:         草稿をサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:         Draft       送信済みをサーバー上に置く(E)         送信済みをサーバー上に置く(E)       送信済みのフォルダ名:         「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         プロファイル(R):       (標準)         グローバルプロファイル(G)       OK	<ul> <li>□ 証明書を検証しな(.)(S)</li> <li>☑ クライアント証明書を使用(F)</li> </ul>	↓ ▼ ESMTPを使用(W) (SMTP認証(zは	必須)
IMAPフォルダ:       接続時にフォルダの未読数を更新(V)         ごみ箱をサーバー上に置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:         丁福布をサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:         □ 芝信済みをサーバー上に置く(E)       送信済みのフォルダ名:         ⑤ 「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)         ① 「クァイル(R):       (標準)         ⑦ ローバルプロファイル(G)       OK	- IMAP関連		
ごみ箱をサーバー上に置く(T)       ごみ箱のフォルダ名:       Trash         草稿をサーバー上に置く(L)       草稿のフォルダ名:       Draft         送信済みをサーバー上に置く(E)       送信済みのフォルダ名:       Sent         「タスク」をサーバー上に置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)       ↑自動取得(Z)         プロファイル(R):       (標準)       新規(W)       削除(D)       取込(Y)         グローバルプロファイル(G)       OK       キャンセル       ヘルプ	IMAPフォルダ:	■ 接続時にフォルダの未読数	を更新(V)
□ 草稿をサーバー上(:置く(L)       草稿のフォルダ名:       Draft         □ 送信済みをサーバー上(:置く(E)       送信済みのフォルダ名:       Sent         □ 「タスク」をサーバー上(:置く(K)       拡張ネームスペースを表示(H)       ↑ 自動取得(Z)         グロファイル(R):       (標準)       ▼       新規(W)       削除(D)       取込(Y)         グローバルプロファイル(G)       OK       キャンセル       ヘルプ	図ごみ箱をサーバー上に置く(T)	ごみ箱のフォルダ名: Trash	
<ul> <li>送信済みをサーバー上に置く(E) 送信済みのフォルダ名: Sent</li> <li>「タスク」をサーバー上に置く(K) 加速県ネームスペースを表示(H) ↑自動取得(Z)</li> <li>グロファイル(R): (標準)</li> <li>グローバルプロファイル(G) 取込(Y)</li> <li>OK キャンセル ヘルプ</li> </ul>	🔲 草稿をサーバー <u>上(こ置</u> く(L)	草稿のフォルダ名: Draft	
<ul> <li>「タスク」をサーバー上に置く(K)</li> <li>拡張ネームスペースを表示(H)</li> <li>↑ 自動取得(Z)</li> <li>プロファイル(R):</li> <li>(標準)</li> <li>びローバルプロファイル(G)</li> <li>OK</li> <li>キャンセル</li> <li>ヘルプ</li> </ul>	■ 送信済みをサーバー上に置く(E)	送信済みのフォルダ名: Sent	
プロファイル(R): (標準) → 新規(W) (削除(D)) 取込(Y) グローバルプロファイル(G) OK キャンセル ヘルプ	■「タスク」をサーバー上に置く(K)	拡張ネームスペースを表示(H) 📃	↑自動取得(Z)
グローバルプロファイル(G) OK キャンセル ヘルプ	プロファイル(R): (標準)	▼ 新規(W) 前期	俞(D)) 取込(Y)
	グローバルプロファイル(G)	OK キャンセル	

# ■ 5. SMTP認証を編集します。

SMTP認証にチェックマークを入れ、「LOGIN」と「PLAIN」にチェックマークを入れます。認証ユーザーIDとパスワードは、POP3のID・パスワード と同一ですので空の状態にしてください。入力が済んだらOKボタンをクリックして編集は完了です。

基本設定 接続 メール作成 受信	
サーバーのポート番号	SMTPIZE
SMTP: 587 (標準: 25)	CRAM-MD5 🗹 LOGIN 🗹 PLAIN
POP3: 110 (標準: 110)	ユーザーID(U):
IMAP4: 143 (標準: 143)	パスワード(0):
	※省略時は受信用のIDとパスワードを使用
受信用(C): デフォルト 🔹	POP before SMTPを使用
送信用(1): デフォルト 🔻	認証後 300 ミリ秒待つ 認証用サーバー(A)
証明書を検証しない(S)	
▼クライアント証明書を使用(F) 📃	
IMAP関連	
IMAPフォルダ:	■ 接続時にフォルダの未読数を更新(V)
☑ ごみ箱をサーバー上に置く(T)	ごみ箱のフォルダ名: Trash
📃 草稿をサーバー上に置く(L)	早稿のフォルタ治: Draft
□ 草稿をサーバー上に置く(L) □ 送信済みをサーバー上に置く(E)	早福の17ォルタ名: Uratt 送信済みのフォルダ名: Sent
<ul> <li>■ 草稿をサーバー上に置く(L)</li> <li>■ 送信済みをサーバー上に置く(E)</li> <li>■ 「タスク」をサーバー上に置く(K)</li> </ul>	<sup>車稿のノオルタ名:</sup> Uratt 送信済みのフォルダ名:Sent 拡張ネームスペースを表示(H) □↑自動取得(Z)
<ul> <li>■ 草稿をサーバー上に置く(L)</li> <li>■ 送信済みをサーバー上に置く(E)</li> <li>■ 「タスク」をサーバー上に置く(K)</li> </ul>	車稿のフォルダ名: Dratt 送信済みのフォルダ名: Sent 拡張ネームスペースを表示(H) 「自動取得(Z)
<ul> <li>■ 草稿をサーバー上に置く(L)</li> <li>■ 送信済みをサーバー上に置く(E)</li> <li>■ 「タスク」をサーバー上に置く(K)</li> <li>■</li> <li>プロファイル(R):</li> <li>(標準)</li> </ul>	車稿のフォルダ名: Dratt 送信済みのフォルダ名: Sent 拡張ネームスペースを表示(H) ↑自動取得(Z)

## ■ 6.メール送受信を実行

下記の画面から、メールの送受信ボタンを押してみましょう。特にエラーが出なければ、メールの送受信が出来ました。

16.電子メールアカウ	ント	
<ul> <li>任意の名前 - Becky!</li> </ul>		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) メール	4) ツール(T) ヘルプ(H)	
🍓 🎃 🌛 🕄 🖳 😻 • 🍅 •	🌣 •   ×   🕼 🕖 📽   🔧 • 🎭 🗒 🗟   🛎 🍪 🗔	1
■ 任意の名前	プロファイル名 接続 受信 名前 メールアドレス メールち	ナーバー SMTPサーバー
> 😅 受信箱	▶ 圖 (標準) LAN POP3 任意の名前 staff@sppd.ne.jp pop.sppd	i.ne.jp smtp.sppd.ne.jp
(5) ごみ箱		
	>>> Becky's Quick Meno << <u< td=""><td>-71-+8+</td></u<>	-71-+8+
	。この両面は、メモ蜴として自由にお使い頂けます。。	
	ToDoや、ちょっとした覚え書きなどにご活用ください。」 この欄の書き込みの可/不可は、鉛筆の絵のツールボタン(直接編集モード)	で切り替え可能です
	☆ *Becky!ミニ情報↓	
	- 未読メールだけを次々読み進めるにはスペースキーを使うと便利です。」	
	- - ツリービュー・リストビュー・メッセージビューの配置は、「表示」メニ	ューの「レイアウトの
	- 一般的なトラブルやFAQについては「ヘルブ」メニューの「困ったとき・#	前らないときは」を見
	「 電子マール知心来の方は」「ヘルブ」の「Backy」入門」をご一体されるこ	とたち動めします。(
	ETA = WINDEWDIRC INWALW IDEETS ALL CONCERNS	C.COMBOOD & S.C.
	( ) () () () () () () () () () () () ()	,
	47:1 H12:1 478X:13	<b>u v</b>

## ★ SMTP25番ポートの設定方法

サブミッションポートを使用せず、25番ポートを利用する場合の設定方法です。

\*\* ご利用のプロバイダで「ポート25ブロッキング」が利用されていないことを確認し、設定を行ってください。

\* 当レンタルサーバーでは、[POP before SMTP機能]により、POP3によるメールの受信をしてから20分間だけメールの送信が可能ですが、[POP over SSL]での受信動作では送信可能になりません。そのため、メール送信の際には、通常のPOP3で一旦受信を行っていただくか、サブミッションポート (587番)を利用してメールを送信してください。

# ■ 1. メールボックスの設定の画面を開きます。

Becky! Ver2 を起動し、「ツール」→「メールボックスの設定」メニューをクリックします。

図7.ツールメニュー		
😰 任意の名前 - Becky!		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) メール(!	4) (ツール(T) ヘルプ(H)	
👹 🌛 🍰 🕄 🔍 😻 • 🖏 • 1	📷 🏪 メールボックスの設定(M)	a 🎂 🗃 🦷 🏧
▶ 💭 任意の名前	*5 全般的な設定( <u>G</u> ) プラグインの設定( <u>U</u> ) ・	メールアドレス メールサーバー SMTPサーバー staff@sond.ne.inon_sond.ne.insmtn.sond.ne.in
	メーリングリストマネージャ(L) メーリングリストマネージャ(E登録(I)	- someshronelh hokshronelh suchshronelh
	フィルタリングマネージャ( <u>N</u> ) 新春を振り分け( <u>B</u> ) 選択中のメールを振り分け( <u>S</u> )	
	<ul> <li>アドレス帳(<u>b</u>)</li> <li>漫出人をアドレス帳に追加(<u>A</u>)</li> </ul>	-
	解決( <u>D</u> ) プロトコルログを取る( <u>D</u> )	
	C 能用チェックを停止(P)     ダイヤルアップ(1)	4887[-+88888
	。 PGP: 復号化と検証 PGP: 設定	問けます。」 活用くたさい。。 ミのツールボタン(直接編集モード)で切り替え可能です。』
	* Becky! ミニ情報↓	
	- 未読メールだけを次々読み進めるには	はスペースキーを使うと便利です。↓
	- ッリービュー・リストビュー・メッセ	2ージビューの配置は、「表示」メニューの「レイアウトの変更」で
	- - 一般的なトラブルやFAQについては「	ヘルブ」メニューの「困ったとき・利らないときは」を見てみましょ
	。 - 電子メール初心者の方は、「ヘルブ」	の「Becky!入門」をご一読されることをお勧めします。<
	٠ ( m	
メールポックス固有の設定を行う		行:1 桁:1 行数:15 🛛 Q 🌢 🖉

# ■ 2. サーバーのポート番号を編集します。

- 「詳細」タブをクリックし、左上の「サーバーのポート番号」のSMTPの値を「25」に変更します。
- 「SMTP認証」のチェックを外し、OKボタンをクリックして編集は完了です。

8.サーバーのポート番号編集メニュー	
[任意の名前]の設定	
メールボックス名(X): 任意の名前 🛛 🖉 巡回対象(/)	
基本設定 接続 メール作成 受信 詳細	
サーバーのボート番号 SMTP: 25 (神学年・25)	
POP3: 110 (標準:110) ユーザーID(U):	
IMAP4: 143 (標準: 143) パスワード(O):	
SSL/TLS関連 ※省略時は受信用のIDとパスワードを使用	
受信用(C): デフォルト ▼ POP before SMTPを使用 送信用(I): デフォルト ▼ 認証後 300 ミリ秒待つ 認証用サーバー(A)	
<ul> <li>□ 証明書を検証しない(S)</li> <li>☑ クライアント証明書を使用(F)</li> <li>□ W ESMTPを使用(W) (SMTP認証には必須)</li> </ul>	
IMAPフォルタ:	
図ごみ箱をサーバー上(ご置く(T) ごみ箱のフォルダ名: Irash	
□ 草稿をサーバー上に置く(L)   草稿のフォルタ名:	
□ 送信済みをサーバー上に置く(E) 送信済めの/オルタ名: Sent	
□ 「ダスク」をリーハーエに直\(M) □ 拡張ネームスペースを表示(H) □ 1 目動収(守(Z)	
プロファイル(R): (標準) ▼ 新規(W) (削除(D)) 取込(Y)	
グローバルプロファイル(G) OK キャンセル ヘルプ	

\*\* 当レンタルサーバーでは、POP before SMTP 機能により、メールを送信する場合は、あらかじめ「受信」を行う必要がありますが、Becky! Ver2の 送受信ボタンは、送信の前に受信を行いますのでエラーが出ることなく正常に受信と送信が完了します。

# ★ POP over SSLの設定方法(任意)

メール受信時の通信を暗号化する「POP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「POP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

#### ■ 1.「POP over SSL」を利用する場合の設定をします。

「ツール」→「メールボックスの設定」の画面の「詳細」タブをクリックし、左上の「サーバーのポート番号」のPOP3の値を「995」と入力します。 次に、その下「SSL/TLS関連」受信用を「デフォルト」に再選択すると「SSL/TLSを有効にしますか?」と表示されますので「はい」をクリックしま す。最後に「証明書を検証しない」にチェックマークを付けて「OK」をクリックします。 以上でPOP over SSL設定は完了です。

意の名前]の設定		<b>X</b>
ールボックス名(X): 任意の名前		☑ 巡回対象(/)
本設定 接続 メール作成 受信	「「「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」」「」「」」「」」「」」	
サーバーのボート番号 SMT <u>P:</u> 465 (標準:25) POP <u>3:995 (標準:110)</u> IMAP <u>4:143 (標準:143)</u> SSL/TLS関連	<ul> <li>✓ SMTP認証</li> <li>■ CRAM-MD5</li> <li>✓ LOGIN</li> <li>ユーザーID(<u>U</u>):</li> <li>パスワード(<u>0</u>):</li> <li>※省略時は受信用のIDとパスワー</li> </ul>	♥ PLAIN
交信用(): アノオルト ▼	POP before SMTPを使用	##=18=(A)
<ul> <li>● 1 / 3 / 1 / 3 / 1 / 3 / 1 / 1 / 3 / 1 / 1</li></ul>	■ ESMTPを使用(W)(SMTP認証(こはよ	<u>3</u> 须)
IMAPフォルダ:		₽更新(\/)
<ul> <li>■ ごみ箱をサーバー上に置く(①)</li> <li>■ 草稿をサーバー上に置く(L)</li> </ul>	ごみ箱のフォルダ名: Trash 草稿のフォルダ名: Draft	
<ul> <li>■ 送信済みをサーバー上に置く(E)</li> <li>■「タスク」をサーバー上に置く(K)</li> </ul>	送信済みのフォルダ名: Sent 拡張ネームスペースを表示( <u>H</u> ) ■↑	自動取得(乙)
]ファイル( <u>R</u> ): (標準)	▼ 新規(W) 削除	(D) 取込(Y)
グローバルプロファイル( <u>G</u> )	OK         キャンセル	ヘルプ

#### ■ 2.メール送受信を実行

下記の画面から、メールの送受信ボタンを押してみましょう。特にエラーが出なければ、メールの送受信が行われました。

図10.電子メールアカウント	`	



# <u>★ SMTP\_over SSLの設定方法(任意)</u>

メール送信時の通信を暗号化する「SMTP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「SMTP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

## ■ 1.「SMTP over SSL」を利用する場合の設定

「ツール」→「メールボックスの設定」の画面の「詳細」タブをクリックし、左上の「サーバーのポート番号」のSMTPの値を「465」と入力します。 次に、その下「SSL/TSL関連」送信用を「デフォルト」に再選択すると「SSL/TLSを有効にしますか?」と表示されますので「はい」をクリックしま す。最後に「証明書を検証しない」にチェックマークを付けて「OK」をクリックします。 以上でSMTP over SSL設定は完了です。

しボックス名(X): 任意の名前	☑ 洲向対象(Λ)	
	E¥4m	
「設定 接続 メール作成 受信		
ナーバーのボート番号		
·MT <u>P</u> : 465 (標準: 25)	CRAM-MD5 V LOGIN V PLAIN	
'OP <u>3</u> : 995 (標準: 110)	ユーザーID( <u>U</u> ):	
MAP <u>4</u> : 143 (標準: 143)	パスワード(0):	
SL/TLS関連	※省略時は受信用のIDとパスワードを使用	
そ信用(C):「デフォルト ・	POP before SMTPを使用	
	認証後 300 ミリ秒待つ 認証用サーバー(A)	
「証明書を検証しない(S)		
クライアント証明書を使用(F)	✓ ESMTPを使用(W) (SMTP認証(には必須)	
 MAP関連		
MAPフォルダ:	■ 接続時にフォルダの未読数を更新(V)	
】ごみ箱をサーバー トに置く(T)	ごみ箱のフォルダ名: Trash	
草稿をサーバー上に置く(L)	<u>草稿のフォルダ名:</u> Draft	
■ 半についていた。 ■ 送信済みをサーバートに置く(E)	送信済みのフォルダ名: Sent	
□ 「なスク」をサーバー 上に置く(K)	1 拡張ネームスペースを表示(日) 1 ↑ 自動取得(7)	
- Which is Treading 5		
コッイル(ロ): (/種准)		

#### ■ 2.メール送受信を実行

下記の画面から、メールの送受信ボタンを押してみましょう。特にエラーが出なければ、メールの送受信が行われました。

